



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年4月28日朝刊東部版

富士市の吉原高国際科1年生が26日、国際理解教育の授業として、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊経験者からフェアトレードの仕組みや意

フェアトレード学ぼう

吉原高国際科1年生

文化祭での企画前に



商品を示して、フェアトレードの仕組みを紹介する今井さん（右端）＝富士市の吉原高

義を学んだ。
1年生16人が世界の出来事に触れる「初めの一歩」と位置付けた。事前学習の一環にも充

生徒は6月の文化祭でフェアトレードを扱う

フェアトレード専門店「Teabom」（静岡市葵区）を営む今井奈保子さんが開発途上国の貧困の実情などを紹介し、児童労働などを無くせる取り組みにフェアトレードを挙げた。日本の食料自給率がカロリーベースで4割程度である点を指摘した今井さんは「6割を海外に頼る中で長続きする取引が大事。互いに得するイーブンな取引がフェアトレード」と伝えた。

①記事の高校生が「フェアトレード」のしくみや意義を学んだ今井さんは何の経験者ですか。

②「フェアトレード」とはどんな取引をいいますか。記事から読み取って書きましょう。

③「フェアトレード」の取り組みによって、どんなことが可能になりそうですか。

④日本にとって、「フェアトレード」が特に必要となる理由を記事から読み取り、50字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校、高校／社会、技術・家庭、総合）



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年4月28日朝刊東部版

富士市の吉原高国際科1年生が26日、国際理解教育の授業として、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊経験者からフェアトレードの仕組みや意

フェアトレード学ぼう

吉原高国際科1年生

文化祭での企画前に



商品を示して、フェアトレードの仕組みを紹介する今井さん（右端）＝富士市の吉原高

義を学んだ。1年生16人が世界の出来事に触れる「初めの一歩」と位置付けた。生徒は6月の文化祭でフェアトレードを扱う企画を予定していて、事前学習の一環にも充

てた。フェアトレード専門店「Teabom」（静岡市葵区）を営む今井奈保子さんが開発途上国の貧困の実情などを紹介し、児童労働などを無くせる取り組みにフェアトレードを挙げた。日本の食料自給率がカロリーベースで4割程度である点を指摘した今井さんは「6割を海外に頼る中で長続きする取引が大事。互いに得するイーブンな取引がフェアトレード」と伝えた。

①記事の高校生が「フェアトレード」のしくみや意義を学んだ今井さんは何の経験者ですか。

（国際協力機構（JICA）の）青年海外協力隊（の経験者）

②「フェアトレード」とはどんな取引をいいますか。記事から読み取って書きましょう。

互いに得するイーブンな取引

③「フェアトレード」の取り組みによって、どんなことが可能になりそうですか。

（例）開発途上国の貧困による児童労働などをなくすることができる。

④日本にとって、「フェアトレード」が特に必要となる理由を記事から読み取り、50字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

（例）

日	本	の	食	料	自	給	率	は	カ	ロ	リ	ー	ベ	ー
ス	で	6	割	を	海	外	に	頼	っ	て	い	る	た	め
、	長	続	き	す	る	取	引	が	特	に	必	要	と	な
る	か	ら	。											

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校、高校／社会、技術・家庭、総合）